

第1回 ABiS シンポジウム アンケート結果(参加者 151 名うち回答 62 件)

1. あなたの区分をお聞かせください

・ABiS の支援関係者 / 35 ・利用者 / 14 ・いずれでもない / 13

2. あなたの職をお聞かせください

・Senior faculty(教授・准教授相当職) / 24 ・Junior faculty / 10
・ポスドク / 6 ・学生・学院生 / 18 ・企業研究者 / 0 ・テクニカルスタッフ / 2
・その他 / 2 (コアファシリティ責任者 / 1、研究室アシスタント / 1)

3. 本シンポジウムが開催されることを何で知りましたか?(複数回答可)

・ABiS のポスター / 9 ・ABiS のウェブサイト / 9 ・ABiS からのメール案内 / 25
・知人の紹介 / 4 ・ABiS 支援者の紹介 / 27 ・ABiS 利用者の紹介 / 2
・その他 / 3 (教授からの紹介 / 1、レゾナンスバイオ / 1、不明 / 1)

4. 本シンポジウムに参加した感想をお聞かせください

・とても満足 / 25 ・やや満足 / 31 ・普通 / 3 ・やや不満 / 0 ・とても不満 / 0

<シンポジウムについて自由にご記入ください>

- ・全国の関連研究者と会い、研究動向をうかがうことができ、非常に参考になった。
- ・様々な分野の研究者の話を聞くことができ、自分達の立場を再確認するためにも有用だった。研究者、技術者間の交流も重要である。
- ・植物系(化学系)のセッションが新鮮だった。
- ・生物系の発表が新鮮で興味深かった。
- ・様々なイメージング結果を動画で見られたので、先進技術の実際をよく知ることができた。
- ・多様なイメージング技術、解析の最先端を知ることができた。
- ・顕微鏡だけでなくプローブ、合成化学などの普段聞くことのできない話を聞くことができてよかった。
- ・ABiS の支援システムについての知見が得られよかった。
- ・海外の状況や最新の技術、実際の支援内容が聞けてよかった。
- ・何がどこまで解析可能か、幅広く学ぶことができて大変有意義だった。
- ・ポスターセッションがあつてよかった。
- ・興味深い話が多く、大変勉強になった。
- ・2光子を使ったテーマが多く勉強になった。
- ・次回は支援の成果を発表できるとよい

- ・ ABiS の活動状況（どのくらいアプライがあり、どんなサポートをできるのか具体的に知りたい）についてのトーク（1 コマでもよい）があればよかった。
- ・ 得られた結果をもとにしたコンサルテーションがあるとよかった。
- ・ 国内の他の支援プラットフォームの現状、海外の状況、情報交換など支援に関わるシンポジウムがあってもよかった。
- ・ ABiS の成果発表とそれ以外の区別がしにくいので、はっきり分かるようにしてほしい。
- ・ スピーカーの音が聞きづらいと感じた。（設備の問題か？）
- ・ 会場内が寒かった。

5. 今後イメージングに関するどのような研究支援があればいいと思いますか？

- ・ Euro-Bioimaging、GBI との連携、日本からの参入へのコーディネーションなど。
- ・ 本年度は科研費がとれなかった教員から、支援対象となる資格がないため申請ができなくて残念という意見が寄せられた。今後はぜひそういう場合でも申請できるよう検討いただきたい。
- ・ 現在、科研費を取得していなくても、今後（将来的に）、取得する可能性のある研究者への支援。
- ・ 学生、大学院生、研究支援者（補佐員）用の基本的な知識、顕微鏡使用法に関する e-Learning。（EMBL 版の和訳でもよいのでは）
- ・ データ解析ソフト、管理など、日本もしくは世界で何の装置があるかを知りたい。
- ・ 画像解析の部分を充実させるトモグラフィー。
- ・ 得られた画像を用いた画像解析への支援。
- ・ 画像解析ソフト等による解析手法の共有、普及の支援。また、それらの情報提供。
- ・ 観察対象に応じた観察手法に対するデータベースの構築。
- ・ 画像解析の妥当性、信頼性へのアドバイスや現状の研究限界などの相談フォーラム。
- ・ 近いところで実験したい研究者が多く、ネットワークの拡大が必要である。
- ・ 初心者向けにソフトウェアの講習会。
- ・ イメージング、解析技術などの講習会。
- ・ 3D 再構成や一次データの画像解析などデータ解析に関する支援。
- ・ 画像解析のためのプログラミング。
- ・ 画像解析アルゴリズムの調査。
- ・ TEM、光顕相関法の支援もあるとよい。
- ・ 機材、Reagents、手法に関する情報発信。
- ・ 質量イメージング。
- ・ チュートリアルの実践化。
- ・ 実際の観察のトレーニング。

6. 今後どのような技術講習会やイベントがあればいいと思いますか？

- ・“温故知新”最先端の支援を行う支援関係者に対する最新のかつ古典的、基盤的な技法に関する技術講習会。
- ・イメージング施設の技術スタッフ同士の交換研修。
- ・画像解析に関する理論的なレクチャー。その後、実際にソフトを用いた実装までできるとよい。サンプル作成→観察→解析までを連続して教われるトレーニングコース。
- ・Super resolution の Live cell imaging に関する技術講習会。
- ・画像の定量法の講習会。高度な技術も大事だが、通常の画像の定量についてもコンセンサスを広める必要がある。(特にどこまでやったら捏造と言われるか?とか)
- ・画像処理、解析、定量化の一連。
- ・3D再構築像の作製。(動画作製までカバーしているとよりうれしい)
- ・様々な透明化手法の比較、検討を実際に試しながら行う講習会。
- ・画像情報の解析、デコンボリューション。
- ・顕微鏡の基本原理などの講習会。
- ・FIB-SEM講習会。
- ・プログラミングの実装。
- ・画像解析トレーニングコース。
- ・e-learning。
- ・染色体ワークショップ、核ダイナミクス研究会との共催。(ミーティングでのコラボ)
- ・実際にソフトウェアを使ってみたり、技術交換などができるワークショップ。
- ・イメージングの実際は動画で見たいので、すべて口頭形式のイベントがあるとよい。
- ・より広い分野の方々が参加できる(小規模であっても)場の提供が期待される。
- ・今回のような先端技術についての講演が定期的にあると非常にうれしい。

7. ABiS へのご意見、ご要望がございましたらお聞かせください

- ・ビッグデータの効率的なオート解析法などを進めてほしい。(立体再構築のセグメンテーションなど)
- ・最新装置を多くの研究に活用できるシステム作り。
- ・支援機関への研究者の配分について、支援数、前年度の支援実績に応じた増減。
- ・日本顕微鏡学会など、他の学会との連携するのはどうか。
- ・プレコンサルテーションがもう少し簡素だとよい。
- ・支援の手続きを簡単にしてほしい。
- ・ウェブサイトにももう少し具体的な支援例がほしい。内容がまだ大まかで詳細がない。
- ・様々な最先端のバイオイメージング技術や用法例を紹介するような大学生、大学院生、研究者向け教育ツールがあると助かる。(You Tube 動画など)
- ・大学でポスターを貼ったり、告知をするのもよい。

- 大きな学会でのシンポジウムで多くの人に ABiS を知ってもらうことが大事だと思う。
- ABiS のパンフレットを支援希望者、検討者に広く配布したいので、関連施設にたくさん準備していただきたい。
- 発表が日本語だったので、とてもありがたかった。(特に有機系は門外漢なので、専門用語の点で助かった)
- 近い将来、自分の研究のために ABiS の力をお借りすることがありそうだと感じた。長く続けてほしい。
- 次回を楽しみにしている。
- The symposium is well organized. The talk and poster session is also interesting. Only one small wish is that, I hope the major talk can be in English, which can let all participants join it. Thanks.